

平成25年度 東葉高速鉄道事業計画

平成25年度の事業の実施にあたっては、鉄道事業の基本である「安全を最優先にする姿勢」を一層強固なものとしながら、地域に密着した企業としてお客様のニーズを的確に捉え、「お客様本位の鉄道」を目指します。

1. 安全輸送の確保

鉄道の生命である安全輸送を確保し、開業以来16年間の運転無事故記録を今後も継続すべく、施設の適切な保守管理や安全管理体制の更なる強化等により、お客様が安心して利用できる鉄道を目指します。

- (1) 高架橋橋脚の耐震補強工事の実施
- (2) 車両間の貫通扉の改良
- (3) 夏季の高温によるレールの張り出し防止のための散水設備の設置
- (4) 車掌用監視モニタの更新
- (5) 駅放送装置等の老朽設備の更新
- (6) 危機管理対策や安全輸送の確保につながる社員教育・訓練の実施
- (7) 全社的な取り組みによる安全管理体制の強化

2. サービスの向上

すべてのお客様に快適にご利用いただくために、様々なニーズを的確に捉え、お客様の視点に立った輸送サービスに努めます。

- (1) 行先表示器の更新
- (2) 行先表示器での他社線を含む運行情報の提供
- (3) 自動改札機の増設（船橋日大前駅東口）
- (4) 駅構内触知図案内板の整備（東葉勝田台駅他3駅）
- (5) 駅ホーム上ベンチの更新
- (6) 案内看板等の更新及び増設
- (7) ホームページの更新
- (8) エレベータ整備に伴う支障物の撤去工事（東海神駅）
- (9) 「お客様の声」を反映したサービス向上対策の実施

3. 財務体質の改善

業務の委託内容の精査や省エネ型の設備の導入により経費を節減するとともに、繰上償還による財務体質の改善を図り、早期に健全経営が確立できるよう努めます。

- (1) 日常業務の委託先や契約内容の見直し等による経費の節減
- (2) 省電力型蛍光灯等の導入による電気使用量の削減（北習志野駅、村上駅）
- (3) 繰上償還の適切な実施による支払利息の軽減

4. 運輸収入の確保

鉄道利用客の誘致を図るため、沿線集客施設との連携や企画乗車券のPR等を積極的に行い、運輸収入の増加に努めます。

- (1) 各種イベント等を通じた東葉高速線のPRと鉄道利用の促進
- (2) 沿線集客施設との連携による鉄道利用客の確保・拡大
- (3) 東葉東京メトロパス等の企画乗車券の発売による鉄道利用の促進
- (4) 新たな企画乗車券の導入

5. 関連事業の推進

所有する未利用地や施設を有効に活用し、関連事業による増収に努めます。

- (1) 新規店舗の誘致による高架下の活用
- (2) 駅構内や列車内への広告ポスターの掲出等による広告収入の確保
- (3) テレビ・映画の撮影協力による施設使用料の確保

6. 人材育成

社員教育を積極的に推進し、会社を担う人材の育成・技能の習得を図ります。

- (1) 職場内研修の充実及び職場外研修への参加
- (2) お客様へのさらなる接遇及び安全性の向上を目指した社員教育・訓練の実施

7. 地域との共生

東葉高速線に親しみを持っていただくための各種イベントの開催や、地域情報の発信等により、地域への貢献・地域との共生に努めます。

- (1) 地域の持つ資源や当社施設を有効に活かし、「東葉健康ウォーク」「東葉サマーコンサート」「東葉家族車両基地まつり」の開催
- (2) 駅公設掲示板や行先表示器等を活用した、地域活動への積極的な支援

平成25年度 損益収支予算

(単位：百万円)

			計 画
経 常 損 益	営 業 損 益	営業収益	15,169
		旅客運輸収入	14,508
		運輸雑収	660
		営業費用	10,215
		営業費	5,318
		減価償却費	4,897
		営業利益	4,954
	営業外損益	△ 3,936	
経常利益		1,018	
特別損益		50	
法人税等		94	
当期純利益		974	

※記載金額は各項目別に四捨五入して表示

平成25年度 設備投資予算

(単位：百万円)

区 分	計 画	備 考
安全対策	545	高架橋耐震補強 ほか
増収対策	151	高架下等新規店舗整備
サービス向上対策	438	駅案内制御装置 ほか
その他	561	
合 計	1,694	

※記載金額は各項目別に四捨五入して表示